

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）	1
1. 理工学部、工学研究科	3

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	研究活動の状況		研究成果の状況	
理工学部、工学研究科	【3】	高い質にある	【2】	相応の質にある

1. 理工学部、工学研究科

(分析項目Ⅰ 研究活動の状況 …………… 4)

(分析項目Ⅱ 研究成果の状況 …………… 5)

分析項目 I 研究活動の状況

〔判定〕 高い質にある

〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

様々な研究費支援及び研究ユニット評価・教員の多面的評価システムへの論文の質を評価する指標の設定など、研究の質の向上に向けた取組を重層的に実施し、論文の FWCI (Field Weighted Citation Impact) 及び Top10%論文率が向上しており、コンピュータ科学分野で高被引用論文著者として選出されている。

〔優れた点〕

- 様々な研究費支援及び研究ユニット評価・教員の多面的評価システム (ASTA) への論文の質を評価する指標の設定など研究の質をあげる取組を重層的に実施した結果、第3期中期目標期間における研究の質が向上しており、これらの成果として、論文の FWCI 値および TOP10%論文率が飛躍的に向上し、世界水準に達している。さらに、令和元年 11 月に公表されたクラリベイト・アナリティクスによる、「高被引用論文著者 (Highly Cited Researchers) 2019 年版」において、後続の研究に大きな影響を与える科学者として、コンピュータ科学分野で日本から選出された3名のうち2名が室蘭工業大学の教員となっている。
- 論文の成果等に係る学術賞について、第2期中期目標期間の 19.8 件/年に比べて、第3期中期目標期間は 29 件/年と大きく伸長している。その中には、特筆すべき優れた受賞がある。〔「Highly Cited Researchers 2019 (コンピュータ科学分野)」や「2018 The 13th IEEE ComSoc Asia-Pacific Young Researcher Award」など〕
- 地域が抱える課題の解決に柔軟かつ迅速に対応するために社会連携統括本部の組織等に再構築を重層的に実施している。これらの取組の結果、外部資金 (共同研究・受託研究・学術指導・寄附講座) の件数、金額ともに増加しており、第2期中期目標期間の平均 77 件/年、105,449 千円/年に比べ、第3期中期目標期間においては、108 件/年、122,137 千円/年に達している。
- 北海道の資源を利用するなど、地域の課題に密着した共同研究等を地方自治体や地域の企業等と連携して積極的に推進している。これらの成果が認められ、北海道の発展に寄与することが期待される科学技術上の優れた発明、研究を行い、今後の活躍が期待される若手研究者に北海道知事から贈呈される「北海道科学技術奨励賞」を室蘭工業大学教員が4年連続で受賞している。さら

に、鋳物関連企業による北海道企業8社を中心とした全国規模の中小企業広域ネットワーク（鋳物シンジケート）の構築・運営支援を室蘭工業大学主導により実施し、これらの取組は、「第8回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード 2019）」において、最も優秀な取組として文部科学大臣賞を受賞したほか、「第8回ものづくり日本大賞」における「ものづくり地域貢献賞（北海道経済産業局長賞）」を関連団体が受賞している。

- 国際共同研究の推進のために、①学術交流協定の締結（令和元年度末で45大学、4機関と協定を締結）、②学術交流協定校との学生レベルでの交流（平成30年度に学術交流協定校との国際共同研修プログラム創設等実施。年間61名の学生を派遣）、③教員の海外派遣事業（平成28年度から令和元年度において5名を派遣）、④国際会議・ワークショップ等の開催を実施した。海外との交流の活性化により、国際共同研究件数について、第2期中期目標期間における平均17件/年に対し、第3期中期目標期間における平均は、30.3件に増加、国際共著論文数についても、第2期中期目標期間36編/年に対し、58編/年と大きく伸長している。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

学術的に卓越している研究業績、社会・経済・文化的に卓越している研究業績が、それぞれ、6件、4件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、相応の質にあると判断した。